

さらめき

No. 69



R5. 5. 20 四者合同運動会



R5. 5. 26 野菜の苗植え



R5. 4. 22 ふるさと学習・サケ稚魚放流

「春から石別の季節を感じる行事が目白押し！」

～新年度、新型コロナが5類に引き下げられて学校にも活気が戻ってきました～ (石別小学校)

人と、未来と、ほくと。



♪音楽のまち・ほくぞう♪

♪音楽でつながいで♪

北斗市では、令和2年度より「音楽のまち・ほくと」を掲げたまちづくりを進めています。さまざまなジャンルや年齢層において音楽に親しみ、音楽活動が活発になることによって、市民の皆さまが明るく健康で生きがいを持てることを目的にしています。

そこで、市民の多くの皆さまが参加できる音楽関連の事業を実施しています。今年行われたイベントをいくつか紹介します。

音楽体験「TOUCH&TRY」inほくと

♪憧れの楽器に触ってみたい♪を実現

1月22日(日)、北斗市総合文化センター・かなで〜るで行われたイベントには、小さな子どもから大人まで、北斗市だけでなく函館市や七飯町から100名以上の人が参加しました。北斗市内の一般吹奏楽団の団員が講師を務め、ミニコンサートや楽器試奏体験、指揮者体験などを行いました。体験に使用した楽器は、市内の小中学校吹奏楽部で現在使用していないものを集め、修理・調整して体験してもらいました。フルートやトランペ



ット、ドラムセットといった本物の楽器に触って、講師の先生の説明を受けながら実際に演奏にチャレンジ。体験者の中には、初めてにもかかわらずしっかりと音を出すことができた子どももいて、「一緒に参加していたお母さんが「天才かも!?!」と驚く場面もありました。

「スペースファンタジーライブ」inほくと

♪星と音楽をつなぐ「壮大な天体ショー」♪

4月29日(土)、かなで〜る大ホールがプラネタリウムになりました。ステージのスクリーンとホールの天井いっぱい映し出された星の映像と語り、そしてピアノと打楽器による生演奏は、まるで宇宙空間で音楽を楽しんでいるような雰囲気でした。今回の公演を行ったのは「星つむぎの村」という団体です。山梨

県にある北杜市(ほくとし)を中心に、なかなか本物の星を見ることが難しい人たちに、星空を届ける活動を全国で展開しています。

第1部はコンサートステージ。ピアノと打楽器の奏でる楽しい音楽に小さな子どもから大人まで一緒に楽しみました。

第2部はプラネタリウムステージ。壮大な星々の映像と優しい語り、美しい音楽によって、星と私たちをつなぐ感動のステージとなりました。



他にもさまざまな音楽に出会えました♪

4月30日(日)、かなで〜る大ホールにてアミューズ・クインテット・コンサートを(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しました。コンサート終了後には、事前に申し込みをした中高生吹奏楽部員や一般吹奏楽団など約60名が参加し、第2回北斗音楽セミナーを開催しました。

日本では珍しいプロの木管五重奏団で、日本の有名オーケストラ等で活躍する音楽界のトップリーダーが、目の前で丁寧

に指導してくれるという貴重な経験に、感動や喜びの声があがっていました。



【第2回音楽セミナー】

「アミューズ・クインテット・コンサート」

これからもさまざまな場面で音楽に触れ合うことができるよう取組を進めてまいります。



4月23日(日) 北斗桜回廊フルートコンサート



5月3日(水) グリーンコンサート



5月28日(日) キッチンカーフェスティバルでのエキナカコンサート

(学校教育課指導主事 中條 淳也)

第2回北斗の杜コンサート

6月18日(日)、北斗市総合文化センターかなで〜にて「第2回北斗の杜コンサート」が開催され、たくさんの方の来場者が展示や舞台発表を楽しみました。

会場のエントランスでは、午前11時より展示発表が行われ、石菰会は日本伝統の水引を使った手の込んだ置物飾り20点と置掛6点、北斗市陶芸サークルはお皿、コーヒーカップ、花瓶など21点を展示しました。

また、文化団体協議会役員によるパンの販売やサービスのコーヒーを飲みながらひと休みできるコーナー、昨年同時期に開催された「第1回北斗の杜コンサート」の映像を見られるスクリーンのコーナーも設けました。



石菰会の作品



北斗市陶芸サークルの作品

小ホールでは、午後0時30分から舞台発表が行われ、会員12団体が日頃の活動

の成果を堂々と披露しました。中でも、再ブレイクしている「マツケンサンバII」を披露した大野吹奏楽団の演奏は、大盛り上がりでした。



フルードサークルの美しい音色



会場が一体となったマツケンサンバII

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に位置付けられたこともあり、「マイケル ウィリアムズ氏」をゲストに迎えました。優しい歌声と心温まる演奏、またギター演奏もあり、合計7曲の素晴らしい舞台を披露していただきました。

参加した各サークルが、皆さまに練習の成果を発表できたこと、また、会場に足を運んでくださいました皆さまに感謝申し上げます。



心温まる歌声に酔いしました

(北斗市文化団体協議会

事務局長 小野 育子)

あなたの街へ。

半崎美子

Yoshiko Hanazaki

HOKKAIDO LIVE TOUR 2023 往復書簡

大好評のふるさとを巡るツアー、今年は7会場の開催！

9月30日(土) 室蘭市/室蘭市民会館 10月1日(日) 新ひたか町/新ひたか町市民会館センターホール 10月4日(水) 北斗市/北斗市総合文化センターかなで〜

10月6日(金) 北見市/北見市民会館 10月8日(日) 旭川市/旭川市民会館 10月9日(月祝) 幕別町/幕別町市民会館 10月16日(月) 札幌市/札幌市民会館

3 4

～家族みんなで楽しむ気軽なクラシック・ファミリー・サマーコンサート～

♪音楽のまち・ほくと♪

フルートとピアノで奏でるキラキラミュージック!

ファミリー・コンサート

2023 8/20(Sun) 11:00 ~11:30
10:00 Open

♪北斗市総合文化センター
かなで〜の大会議室

♪入場無料(事前申し込みが必要です)定員150名

出演

フルート	池田 桂子
フルート	滝 亜矢
ピアノ	山本 和生

北斗市立図書館
【児童書の無料譲渡会】

□ 8月20日(日)
□ 10時 ~ なくなり次第終了

※コンサートの前に開催します。
※申し込み不要で、どなたでも参加できます。
※本を入れるための袋を各自持参願います。

赤ちゃんや小さいお子さまと一緒に楽しいひと時を過ごしませんか。誰もが知っているクラシックや童謡、ジブリやディズニーの音楽など。音楽に合わせて歌ったり踊ったり。楽しく優しい音楽を生演奏でお届けするコンサートです。親子三代でもお楽しみいただけます。

主催 北斗市かなで〜の協会
後援 北斗市
北斗市教育委員会
北斗市吹奏楽連絡協議会

♪コンサート申込方法【7月1日から8月15日まで】
右の2次元バーコードを読み取り
インターネットからお申し込みください。
(定員になりましたら受付を停止させていただきます)

♪好評発売中♪

- 日にち/10月4日(水)
- 時間/開場18時 開演19時
- 場所/北斗市総合文化センター
かなで〜の大ホール
- 入場料/一般 5千円 ※全席指定席
- 主催/クリエイティブオフィスキュー
- 共催/北斗市かなで〜の協会
北海道新聞函館支社

半崎美子
HOKKAIDO LIVE TOUR
2023「往復書簡」

1年生を迎える会

くわいらしい1年生を温かく迎えよう

市渡小学校

4月15日(土)に、「1年生を迎える会」を実施しました。コロナ禍では、学年を分けて前半・後半と二部制にし、Zoom(ビデオ会議システム)を使うなどして分散で行いましたが、4年ぶりに、全学年が体育館に集まって開催することができました。

新学期がスタートして1週間ほどの、短い準備期間の中でしたが、1年生に喜んでもらうため、各学年が趣向を凝らした楽しい発表をしました。

2年生は、ダンスを披露しました。「ジャンボリミッキー」の軽快な音楽に合わせて、リズムカルにゆかいな振り付けで踊りを発表しました。

3年生は、市渡小学校の校歌を紹介しました。1番から3番までの歌詞に合わせて、手話を交えながら元気に歌いました。校歌を歌った後は、1年生に早く覚えてもらえるように、歌詞にまつわるクイズを出しました。

4・5年生は、劇を発表しました。市渡小学校の校庭には、栗の木があり、秋にはたくさんの実をつけます。そこで、

昔話の「桃太郎」をヒントに「栗太郎」というお話を考えて、市渡小学校の特色をよく表した劇にしました。コミカルな場面が多くあり、1年生の楽しそうな笑顔をたくさん見ることができました。

6年生は、劇仕立ての歌と踊りの発表をしました。「あたりまえ体操」の音楽に合わせて「あたりまえ市小」と、市渡小学校をよく知り、学校のきまりやルールがわかるように内容を工夫しました。

最後は、1年生の発表です。小さな体を目いっぱい使い、2～6年生へ感謝の気持ちを込めて、ユニークな振り付けをしながらお礼のメッセージを贈りました。今年までの約3年間、感染症対策により、多くの制約の中で学校生活を送ってきましたが、ようやく本来の活動ができるようになりつつあります。

これからも、市渡小学校らしさを大切にしながら、一つ一つの行事を通して、主体的に学ぶ子どもを育て教育を推進していきたいと考えています。

(市渡小学校 教諭 塚原 智子)

2年生の発表



3年生の発表



4・5年生の発表



1年生の発表

6年生の発表



みんなで力を合わせて

最後までやりきろう！

久根別小学校

全校一斉で開催できました！

練習の成果を存分に出しました！

新型コロナウイルス感染症のため、ここ数年低・中・高学年の分散開催となっていた運動会を、今年度は全校で実施することができました。保護者の観覧方法を工夫するなど、感染対策も行いながらの実施となりましたが、子どもたちは、他学年の競技を見ながら応援し、自分たちの競技の際は他学年から声援をもらうなど、非常に盛り上がり一体感を味わうことができました。

幸い天候にも恵まれ、全校での開会式は久しぶりということもあり、圧巻の光景でした。どの学年も一生懸命練習してきた成果を十分に発揮できた運動会となりました。



～開会式でのラジオ体操～

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、マスク着用を任意とし、大きな声での応援や歓声も可能となった運動会は、昨年度と比べ、さらに活気あふれるものとなりました。

種目は各学年、徒競走・団体競技・全員リレーの3つで、団体競技は1年生が玉入れ、2年生が大玉転がし、3・4年生が綱引き、5・6年生が棒取りで争いました。低学年は競技を行う姿にどの学年が見られましたが、中学年・高学年の一体感が高まり、とても見ごたえのあるものでした。勝敗にかかわらず、競技のたびに、児童や保護者から温かい拍手が送られました。



～たくさん入れ!! 1年生の玉入れ～

約2週間前から、本番に向けて本格的な練習が始まりました。ラジオ体操や徒競走の並び順の確認から始まり、リレーのバトンパスの練習や団体競技など、練習を重ねるにつれてみるみるうちに上達し、本番では最高のパフォーマンスを見せることができました。最初は自分のことで精いっぱいだった児童も、周りに合わせて動くことができるまでに成長しました。



～すごい迫力!
2年生の大玉転がし!～

児童の姿にも変化が!

天候にも恵まれ、全ての練習をグラウンドで行え、最高のコンディションの中で練習ができたことも、本番の素晴らしいパフォーマンスにつながりました。

運動会に向けて練習をしていく中、日常の学校生活でも児童に変化が見られるようになりました。休み時間や授業中

など、さまざまな場面で誰かを気に掛ける様子が多く見られるようになりました。運動会の取組を通して、子どもたち一人一人が久根別小学校の一員としての自覚を持って助け合うことができるようになりました。

どうしたら仲間が気持ちよく行動できるのか、自分は今何をすべきかを一人一人がこれまで以上に考えることができるようになるなど、児童の大きな成長が見られました。

仲間と同じ時間を共有し、努力を惜しまず挑んだ運動会。きっと、児童や保護者の皆さまにも思い出深い出来事になったことでしょう。ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。



～力と力のぶつかり合い!
5年生の棒取り～

(久根別小学校 教諭 生田 遼河)

新たな学校生活のかたち

新型コロナウイルスによる制限も緩和され、コロナ前とはまた違った新しい生活様式での学校生活となっています。今回は、書記局を置かず、実行委員会形式という新しい茂辺地中学校の生徒会活動の取組や、5月20日（土）に行われた第21回茂辺地合同大運動会について紹介します。

書記局から実行委員会形式へ

本校は今年度から教育目標を「生きる学ぶ つなげる」、重点教育目標を「自ら考え、仲間とともに課題を解決する児童・生徒」として、小学校12名、中学校12名の全校合わせて24名の児童生徒と教職員21名でスタートしました。

今年度の茂辺地中学校は、生徒数の減少に伴い、書記局の運営が難しい状況となっています。そこで、新たな取組として、月に一度全校学活を開き、その中で生徒が自主的に必要である委員会（仕事の内容も含む）を考え、話し合いにより進めていく実行委員会形式で生徒会活動を推進しています。



【第1回の全校学活】
話し合い活動の様子

茂辺地合同大運動会

今年度のスローガン

今年度のスローガンは、ONE FOR ALL, ALL FOR ONE〜止まるな！走り続ける！！に決定しました。



【スローガンの看板完成】
うまくでき、達成感で一杯

スローガン委員である中学3年生の塩村彩芽さんと、中学1年生の郷六航さんが全校児童生徒にアンケートをとり、決

定したものです。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」という意味です。サブテーマには、運動会に向けて児童生徒から寄せられたメッセージを委員がまとめ、紅白のチームそれぞれが一丸となって頑張っしてほしいという願いが込められています。スローガンは小中合同で看板制作チームによって、素敵な看板に仕上がりました。

オリジナルの「茂辺地ソーラン」

曲も法被も世界でただ一つの「茂辺地ソーラン」が、本校の特色ある取組の一つです。本校卒業生の佐野誠一さんのご厚意で4年前にできました。

小中縦割り練習では、4つのグループに分かれて中学生が中心となって練習を進めました。どのグループも、細かい振付の確認をしたり、かけ声を出す練習をするなど、精一杯取り組んでいました。

また、今まではコロナ禍の中で制限がありました。今年度は児童生徒、教師がともに大きなかけ声を出すというところ、最後には中央に集まり、全員で決めポーズをするなど新たなバージョンでのソーランとなりました。練習から法被を着ることでより気分が高まっていました。



【小中合同練習】
中学生が中心となり話し合い活動を行っている様子

運動会本番

晴天とまではいかないものの、予定どおり運動会が開催されました。児童生徒はたくさんの方々の来賓の方々や保護者、卒業生がいる中で緊張した姿でしたが、紅組・白組両チームとも大きな声援を出しながら全力で競技に臨んでいました。



【迫力ある茂辺地ソーラン】
かけ声を出して気持ちも盛り上がり、
今までで最高の発表ができました。

地域の方々のサポートもあり、前日から当日までスムーズな準備ができました。地域の方々の参加する競技もいくつか設定された中で、白熱する戦いが繰り広げられました。児童生徒も一緒になって応援する姿が見られたりと、小中、そして地域が一緒にスローガンを達成した運動会となりました。



【30秒間の綱引き】
両者一步も譲らない戦いに、会場全体が熱い声援を送っていました。

(茂辺地中学校 教諭 會津 聡子)

5月8日からの 学校生活について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、過日、国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が改定されました。

このことを受け、北斗市立小中学校においても、従来の対策を見直し、次のとおり対応していくことといたしました。

1 新型コロナウイルス感染症への感染が確認された児童生徒等に対する出席停止の期間等

・「発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで」が基準となります。

・濃厚接触者としての特定は行わず、感染が確認されていない者については、直ちに出席停止の対象になりません。

・さまざまな事情で感染の不安等で休ませたい場合などは、学校に相談してください。

・児童生徒等においては、発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合には、無理をせずに、自宅で休養させるようご理解とご協力をお願いいたします。

2 学校における新型コロナウイルス感染症対策の考え方

○平時から求められる感染症対策について

・家庭との連携による児童生徒の健康状態の把握

・適切な換気の確保

・手洗い等の手指衛生や咳エチケットの指導

といった対策を行います。

○感染流行時における感染症対策について

活動場面に応じて、

・「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控えること

・児童生徒等の間に触れ合わない程度の身体的距離を確保すること

等の措置を一時的に行うことが考えられます。

各学校においては、「手洗い等の手指衛生に取り組み」「定期的な換気を行う」等の基本的な感染症対策を行いながら学校生活を行っていきますが、誰でも感染する可能性があります。マスクを着用しなければならぬ事情や、着用したくてもできない事情がある人がいます。「感染した」「〇〇にうつされた」「マスクをしてないから」などと言ったりせず、差別や偏見をせずに認め合うことが大切であるという指導も続けてまいります。

(北斗市校長会 萩野小学校

校長 西館 純)

夏こそ大切な朝ごはん 夏バテを防ぐ

「暑くて食欲がない」、「冷たいものや水分ばかりで、お腹がいっぱい」など、食事の量や回数が、減ってはいませんか。

暑さは、脳の食欲をコントロールしている部分に影響し、消化液の分泌が少なくなるなど、消化器官の働きを弱めます。また、冷たいものばかり取りすぎると、腸が冷えて、腹痛や下痢を引き起こし、胃腸の機能低下を招きます。最近では、冷房による急な温度差が自律神経を乱し、食欲はもちろん、体調不良の大きな要因の一つになっています。

食欲がなくなり、食事の量や回数が減ると、栄養のバランスが崩れます。それに暑さによるだるさや寝不足などが加わると、夏バテを引き起こします。今回は、暑い夏にこそ大切な食事、「朝ごはん」と、夏バテ予防について、ご紹介します。

① 朝ごはんの3つのポイント

● 涼しい朝に

● 冷たいものは控えて

● 栄養バランスの取れた食事を

暑さの影響が少ない涼しい朝の時間帯に、バランスの取れた、冷えたものではない食事を取ることで、食欲が落ちず、栄養も吸収されます。一日の始まりの食事が、軽めで冷たいもの、なんていう日が

続くと、栄養不足になり、夏バテを招いてしまいます。また、飲み物は、朝から冷たいジュースではなく、お茶や牛乳、特にお茶は、タンパク質で塩分もあるため、夏に好適です。

② 夏バテ予防のポイント

● 規則正しい生活リズム

● 睡眠をじゅうぶんに

● 適度な運動

● こまめな水分補給

● ぬるめのお風呂

● 体を冷やしすぎない

● 夏に必要な栄養素を取る

規則正しい生活リズムで、睡眠をじゅうぶん取ることは、体内時計を整え、心にも体にも疲れをためません。また、こまめな水分補給を忘れず、時には適度な運動をし、必要以上に体を冷やさないこと、そして、一日の終わりに、ぬるめのお風呂にゆっくり入り、ほっと気持ちよさを感じることができれば、自律神経も整います。さらに、夏に不足しがちなタンパク質(肉・魚・卵・大豆製品など)やビタミンB1(豚肉・落花生・ゴマ・ウナギ・玄米など)を取ることで、夏の疲労回復を促し、夏バテ予防になります。夏の体調は、秋冬にも影響します。ぜひ、夏を健康に過ごしましょう。

(北斗市学校保健会

萩野小学校養護教諭 大塚 七重)



北斗市立図書館だより

令和5年の初夏はコロナ感染の状況も落ち着いて社会全体に明るい雰囲気が出てきているように思えます。

その一方で戦争、世間を揺るがす事件や犯罪、災害が後を絶たず不安に思うこともしばしば起こっております。過去や現在を知り、より良い未来に備えるための知識や情報を得るツール（道具）として図書館を利用していただければと思います。

さて、この夏の図書館情報をお知らせします。

7月の特設コーナー

★『知ってる？動物の世界』（本館）

研究者たちが書いた面白い本、愛らしい動物の本をご紹介します。大人も子どもも、動物の生態を楽しく学べて、なおかつ癒される本が大集合です。

★『本を片手に大海原に漕ぎ出そう！』（本館・分館）

「海」をテーマに小説、絵本、海全般についての児童書、一般書を幅広く集めました。海へ行く人も行けない人も本を読んで、航海に出発です！

★『北海道青少年のための200冊』

★『第69回青少年読書感想文全国コンク

ール課題図書』（両展示 本館・分館）
今年も、さまざまなテーマの物語やノンフィクションが学年別に選定されています。夏休みの読書で迷ったら図書館に足を運んでみてください。

児童書の無料譲渡会

入れ替えによって保管できなくなった児童書を希望する方に無料で譲りします。同日に行われるファミリーコンサート（11時開始）の前の時間帯に開催しますので、ぜひ両方のイベントにご参加ください。

●日時／8月20日（日）午前10時～

●場所／総合文化センター かなでる大会議室

詳細については、決まり次第、ホームページ、広報やポスターなどでお知らせいたします。



【昨年夏の無料譲渡会の様子】
大人気で開始20分で在庫がなくなりました！

（北斗市立図書館 司書 荒竹 規子）

きつずアドベンチャー ～宿泊事業が再開します～

きつずアドベンチャーってなに？

この事業は、年齢が異なる子どもたちが集まり、北斗市の恵まれた自然の中で体験を通じて、たくましく生きる力を育てることを目的としております。北斗ロータリークラブ、陸上自衛隊函館駐屯地、隊友会北斗支部、函館大谷短大などの協力を得て開催しています。

今年、1日目に総合文化センターかなでるで事前研修を行い、2日目からは1泊2日の日程で、昼間は函館山と津軽海峡、駒ヶ岳と大沼が展望でき、夜間は満点の星空が広がる「きじひき高原キャンプ場」での開催が決定しました。

♪参加者を募集します♪

昨年は、新型コロナウイルス感染症による制限で、宿泊を伴う事業は自粛しましたが、今年は1泊2日の日程で開催します。

市教育委員会では、参加者を募集していますので、詳しくは市公式ホームページ、児童・生徒に配布予定の募集チラシをご覧ください。

夏休み最後の週末に、素敵な思い出作りませんか。たくさんの方の参加を心よりお待ちしております。



手作り担架で救助演習



大きなドローンに興味津々!!

※写真は、令和4年度の様子を掲載しています。

（社会教育課 木島 悠）

爽やかに朝日を浴びて快走。快汗!!

第47回早朝日曜マラソン

皆さんもご存知の「早朝日曜マラソン」も今年で47回目を迎えました。昭和51年から始まり、社会体育事業の中でも歴史と伝統のある事業の一つになっています。

今年も、5月7日から7月9日の毎週日曜日の10回、早朝6時30分から開催しております。北斗市内5地区（七重浜・久根別・中央・谷川・本郷）で実施していますが、幼児、小中学生、高校生、一般の方や親子連れなど思い思いのスタイルで参加し、心地良い汗を流して会場を盛り上げてくれています。

◎早朝の柔らかな日差しを浴びて!!

少子高齢化が進む現在、人々の健康に対する志向は非常に高まっており、国のスポーツに関する施策であるスポーツ基本法でも、スポーツは「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもの」と位置付けています。市教育委員会でも市民の皆さんがスポーツに親しみ健康な心身を培い、体力の増進に努め、住みよい社会づくりを目指して事業を進めています。

早朝日曜マラソンは、1・2・3kmの3コースを用意しており、参加する皆さんは、その日の体調に合わせてコースを選択し、自由に判断して参加しています。高齡者の中には、ラジオ体操だけの参加やコースを散歩して参加する方もいます。合計10回の開催となりますが、最終日には全員に累計総距離を記録した「走破証」が贈呈されます。

また、一度も休まず参加した方には、「皆勤賞」、2回までの欠席については「精勤賞」が贈呈されます。

皆さんも、早朝の柔らかな日差しを身体いっぱいに浴び、それぞれのスタイルで心地良い汗を流しましょう。



親子で朝から健康的に



中学生も元気に参加

◎学校と地域のつながり

早朝日曜マラソンでは、地域の小学校が事業を実施する上で大きな協力関係の源となっていたいただいています。コミュニティースタールは、学校と保護者や地域が連携して子どもたちを育てていくことが主眼になっていきます。多くの小・中学生や保護者、地域の方々が参加する早朝日曜マラソンは、まさに「地域と共にある学校づくり」に結びつくものです。小学校がマラソンの参加の働きかけをして、社会体育事業に協力することで参加者も増えていきます。このことは、子どもたちの参加だけでなく、家族や地域の方々へと参加の輪が広がって行くことにつながっています。

また、校長・教頭先生をはじめ、小学校から有志の先生の手を借り、学校内とは違った和やかな雰囲気の中で子どもたちへの温かい声掛けなど、楽しい交流の場が生まれています。参加した子どもたちが、笑顔で先生方と会話したり、一緒に走りながら心地良い汗を流しているのは、素敵な光景です。

子どもが主役となり推進する社会体育事業では、地域の学校が協力し、スポーツ推進委員と学校が連携して事業を進めることで大きな成果が得られると思います。

このような場や機会を大切にしながら、

早朝日曜マラソンをはじめ、各種社会体育事業を進めていきたいと思っています。



皆勤賞!? 浜分小 大和教頭

◎インターハイ（相撲競技）が北斗市に!!

全国高等学校総合体育大会（通称「インターハイ」）は、高校生を対象とし、全国各地の予選を勝ち抜いた選手が集う高校生最大のスポーツの祭典です。夏季大会と冬季大会があり、夏季大会は昭和62年以来36年ぶりに北海道で開催されることになり、北斗市では8月4日（金）～6日（日）に相撲競技が行われます。

北海道予選を見事勝ち抜き、団体戦では大野農業高校、個人戦では大野農業高校と函館水産高校の生徒がインターハイ出場を決めました。（詳細は裏表紙をご覧ください）

大会当日は、自由に観覧ができますので、皆さまの熱いご声援をよろしくお願ひします。

（北斗市スポーツ推進委員

委員長 安達 孝義）

ほくと遺跡ものがたり

遺跡が語る北斗の歴史 第11回

はるかむかし、旧石器時代・縄文時代から現代に至るまで、一万有余年の間にこの北斗の地で営まれ続けた人類の歩み――コーナーでは、こうした北斗の歴史について、「遺跡」に焦点をあてて紹介します。今回からは、数回に分けて北斗市に数多く遺る箱館戦争にまつわる遺跡や記録について触れていきたいと思います。今回はその前段、箱館戦争開戦前夜までにこのお話です。

これまで、遺跡や史書・記録など、今に遺るさまざまなひとびとの足跡を通じて北斗の歴史について辿ってきたこのコラムですが、いよいよ大きく時代が揺れ動く幕末へと進んできました。

前回は、幕末・開国の時代に築かれた「日本最初の星の城」戸切地陣屋についてご紹介しました。その竣工から約13年後、道南全体を舞台として、古い時代を締めくくり新しい時代へ進むための大きな戦いが約半年にわたり繰り広げられることとなります。それが箱館戦争です。ここ北斗もその戦いの舞台となり、それにまつわる遺跡がいくつか遺っています。箱館戦争とそれを含む戊辰戦争の経緯と時代背景

について、少し時間をさかのぼってご紹介していききたいと思います。

1 「江戸幕府の時代」の終焉と、それに抗った人々〜戊辰戦争〜

幕末開国以降、世界の中での日本という「国」の舵取りについて、朝廷を中心に据えながらも、長く続いた幕藩体制を維持しながら両立させる公武合体と、幕府を解体（倒幕）し改めて朝廷のもとで諸侯合議のもと運営する公議政体のいずれをとるかで国内は紛糾します。

時の将軍・徳川慶喜は大政奉還を行い、政治的主導権を返上しながらも「幕府の將軍」の立場を維持したまま諸侯の一人として国政に加わるかたちをとりますが、あくまで倒幕を目指す薩摩藩らによる働きかけの結果、慶応3（1867）年12月9日、京都において幕府の解体を命じる王政復古の大号令が発せられ、加えて徳川家は領地を返上するよう命じられます。幕府側將兵は薩摩藩らの倒幕の動きに長く不満を募らせていましたが、これによりそれは爆発寸前となります。

翌慶応4（1868）年正月、慶喜は滞在していた大坂城から京都への再上洛を命じられます。この際、慶喜は命令に従い軽装と少数のお供のみで向かうつもりでしたが、怒りに燃える旧幕府將兵ら1万5千人が慶喜の意に反し同行。同月

3日、鳥羽街道を封鎖する薩摩藩兵5千人と押し問答の末戦闘が勃発。ここに、この後約1年半にわたる国内内戦である戊辰戦争の火蓋が切られます。この時旧幕府軍は戦闘が偶発的に始まったため統率が取れず、かつ薩摩兵が朝廷側の証である錦の御旗を掲げたため大きく動揺し、敗戦します（鳥羽・伏見の戦い）。戦線を逃れ江戸に戻った徳川慶喜は朝廷と争う意思がないことを示しますが、新政府軍は天皇のいる御所方向への発砲などを口実に彼ら旧幕府を朝敵とみなし、討伐軍を江戸に差し向けます。

途中、甲州（現在の山梨県）勝沼で甲陽鎮撫隊（旧新撰組）を、野州（現在の栃木県）梁田で旧幕府軍離脱兵（後の衝鋒隊）を撃破し、同年3月に駿府（現在の静岡県）に到達。旧幕府側代表勝海舟と新政府側代表西郷隆盛との交渉の結果江戸総攻撃は免れますが、翌4月に江戸城は開城、慶喜は家督を譲り水戸で隠居となり、ここに265年に及ぶ徳川幕府の歴史は完全に幕を閉じたのでした。

なお、鳥羽・伏見の戦いが勃発した時に旧幕府側についた諸藩は徳川家と同じく朝敵として征討の対象となりました。このうち会津藩（現在の福島県）・庄内藩（現在の山形県）については、東北北陸の諸藩が同盟（奥羽越列藩同盟）を結成し赦免を嘆願しますが拒絶されます。

結果、この同盟は新政府軍の「朝敵征討」に対抗する軍事同盟へと変容し、慶応4年4月〜9月にかけて各地で両軍による激戦が繰り広げられることとなります（秋田戦争・北越戦争・会津戦争）。なお、西国でも幕府側諸藩に対し討伐隊が派遣されましたが、そのほとんどが戦わずして帰順し、慶応3年1月末までにはすべて新政府側に属しています。

2 榎本武揚はなぜ北を目指したのか〜箱館戦争開戦前夜〜

こうした王政復古から戊辰戦争へと大きく時代が流れ行く中で、それに大きく抵抗したのが榎本武揚でした。広く海外を遊学して学を修め、幕府海軍の重鎮であった彼は、薩摩藩の新政府における専横に強く憤りかつ幕府解体による旧幕臣らの行く末を深く案じていました。

4月11日、榎本は江戸城開城に伴い命じられた旧幕府軍艦の明け渡しを拒否し、遊撃隊らを乗船させ一部艦艇の占拠に成功します。当時榎本は、この先領地を失う旧幕臣らの行く末として蝦夷地（北海道）開拓をすでに立案していたよう、勝海舟に箱館への艦隊出航を提案して却下されています。彼は安政元（1854）年に実際に自分の足で蝦夷地巡検に同行しており、あるいはその頃から北地防衛・蝦夷地開拓をアイデアと

してすでにあたためていたのかもかもしれません。

5月、旧幕府徳川家は所有していた全
国の領地**四百万石**から**駿府七十万石**へと
大減封されます。これにより数多くの旧
幕臣が困窮に陥ることは明らかでした。

この対策として、6月に慶喜に代わり徳
川宗家を継いだ**家達**の名で、収入を失っ
た旧徳川家臣を平民として蝦夷地に移住
させ開拓の任に就かせることを求める上
奏が朝廷になされますが、却下されます。

ここに至ってもなお、榎本は旧幕臣ら
を救うための蝦夷地開拓の希望を捨てて
いませんでした。7月ごろから榎本は奥
羽越列藩同盟と接触し始め、徳川宗家の
駿府移封が完了するのを見届けた後の8
月19日、同盟支援を名目に陸軍奉行並・
松平太郎ら幕臣、**彰義隊**ら旧幕軍部隊、
そして**ブリュネ**らフランス軍事顧問ら
総勢約2千人を乗せた艦隊を率い江戸を
脱出、一路北を目指します。

この時榎本は勝海舟に以下のような内
容の檄文を託していました。

「国が新しい歩みを始めるため、天皇の
もとに団結し、政体を一新することはよ
いことで、自分も希望する所である。

しかし、公明正大を謳いながら、現実
はどうだろうか。新政府は我が旧君徳川
家に朝敵の汚名を着せ、領地を奪い、家
臣は住む家を保つ事すらままならない。

あまりにひどく、これもひとえにごく
一部の強藩（※薩摩藩ら）のわたくしの
意志によるものであって、天皇・朝廷の
真意とはいえないだろう。私は朝廷に直
接訴えたが、みな押し黙り話を聞かない。
そのため、わたしはここ江戸を去り、長
くこの国のいしずえとなる一環の事業を
始めようと思う。これこそが、この新政
日本をして世界各国と肩を並べる力を築
くものとなるであろう。」

つまり、榎本らの江戸脱出の目的は、
(1) 新政府の**薩摩藩**らによる**専横**の打
破と、旧主君・徳川家など旧幕府勢力へ
の**不公平な処遇への抵抗とその是正**

(2) 大幅な領地減により行き場を失っ
た旧徳川幕府家臣らの生きる道として、
そして新時代の日本の基盤づくりとして
の（朝廷公認の）**蝦夷地への移住開拓**
ということになります。

そして、彼らがまず第一に目指したの
が、徳川家と同じように朝敵の汚名を着
せられた会津藩らの支援を目的として結
成された奥羽越列藩同盟との合流でした。

しかし、榎本らが仙台に到着した8月
下旬の段階で、北越戦線は鎮圧され、秋
田・会津戦線も敗色を濃くしており、同
盟の敗北はほぼ決まった状況でした。

榎本は仙台で合流した**土方歳三**らと共
に軍議に出席し同盟側諸藩に抵抗を説き
ますが、9月12日について同盟の中心で

あった仙台藩が新政府への降伏を決定。
榎本らは、仙台で合流した**大島圭介**率
いる旧幕府陸軍の精鋭部隊・**伝習隊**、洋
式兵学のエキスパート・**古屋佐久左衛門**
率いる**衝鋒隊**、**星恒太郎**率いる仙台藩の
洋式銃隊・**額兵隊**、仙台到着時ほぼ解散
状態にありながら新隊士らを加え再編
なった**新撰組**（この時すでに土方は新撰
組の役職を離れています）などを加え総
勢約3千人の兵力をもつてさらなる北・
蝦夷地を目指すこととなりました。

榎本が北を目指したのは、もちろん当
初より目標の蝦夷地の開拓事業の開始で
あったことともありますが、おそら
くは当時新政府の箱館府知事を務めてい
た**清水谷公考**に期待するところが大き
かったのではないかと私は考えていま
す。

公考は、当時まだ24歳の公卿の身にあ
りながら探検家・**岡本監輔**から得た知見
をもとに慶応4年3月に蝦夷地開拓を朝
廷に建言。これをもとに新政府は蝦夷地
に**箱館裁判所**を置き、公考は自らその副
総督の任につきました。これは現地に赴
任した官員の中では最高位であり、のち
箱館裁判所が**箱館府**と名前を改めた際に
はそのトップである知事に就きます。

若くして自分と同じく開拓の必要性・
可能性を見抜き、公卿の身でありながら
自ら遠く蝦夷地に赴任する…そんな公考

ならば、自分たちの理想を理解し、薩摩
藩らにさえぎられることなく朝廷・天皇
への橋渡しになってくれるのではないか
…そうした一縷の望みが、榎本の北行に
秘められていた、そんな感があります。

明治元年10月20日、榎本ら旧幕府軍は
鷺ノ木村（現・森町鷺ノ木）に上陸。こ
のうち伝習隊から**本多幸七郎**・遊撃隊か
ら**人見勝太郎**が「旧幕臣らによる蝦夷地
開拓」「蝦夷地滞在の許可」について記
した嘆願書を持って使者として護衛の兵
士らとともに箱館へ向けて出発します。

しかしその願いもむなしく、「榎本艦
隊仙台を発つ」の報を受けた時点で箱館
府側は迎撃の方針を固めており（万が一
艦隊が箱館に直接入港した際は砲撃が行
われる手筈でした）、箱館府の常備兵力
である**在任隊**・**新兵隊**、そして戸切地陣
屋から派遣された**松前藩兵**と援軍派兵さ
れた**弘前藩兵**が**藤山村**に集結。10月22日
未明、隣接する**峠下村**まで歩を進めてい
た旧幕府軍使者らに対し夜襲をしかけま
す。ここに、この後約半年に渡る**箱館戦**
争が幕を開けることとなったのでした。

次回は、史料分析によりその詳細な経
過が明らかになった箱館戦争における最
初の大規模戦闘・「**大野口の戦い**」（通
称・**意富比神社の戦い**）をご紹介します。
（郷土資料館 時田 太郎）



祝 インターハイ出場

6月3日(土)、インターハイ出場をかねて第77回北海道高校相撲選手権大会が開催され、団体戦では大野農業高校、個人戦では大野農業高校、函館水産高校が見事インターハイ出場を決めました!

- 団体戦 大野農業高校
- 個人戦 80kg級 阿保 友馬 (大野農業)
100kg級 鈴木 一二三 (大野農業)
無差別級 平川 楓希 (大野農業)
畑澤 優心 (函館水産)

観覧は無料です。
全国の頂点をめざす高校生の迫力ある真剣勝負は必見です。
たくさんのご来場と、温かいご声援をよろしくお願いたします。

臨時休館のお知らせ

インターハイ相撲競技の開催に伴い、下記の施設が臨時休館となります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 7月22日(土)から8月9日(水)
総合体育館、自由ひろば
- 8月4日(金)から8月6日(日)
市民プール、全ての運動公園施設

☆大会日程

- 8月4日(金)
 - 8:30~8:45 開会式
 - 9:00~13:40 個人戦予選(1~3回戦)
 - 13:50~16:25 団体戦予選(1回戦)
- 8月5日(土)
 - 8:30~13:40 団体戦予選(2~3回戦)
(団体戦同点決勝がある場合、以下の時間が変更となります。)
 - 13:50~14:50 個人戦優秀32選手
決定トーナメント戦
 - 15:00~17:00 個人体重別戦
(80kg級、100kg級)
 - 17:10~17:30 個人体重別戦表彰式
- 8月6日(日)
 - 8:30~9:40 個人戦優秀32選手
決勝トーナメント戦
 - 9:50~13:40 団体戦優秀32校
決勝トーナメント戦
 - 14:00~14:45 個人・団体戦表彰式、閉会式

令和5年度教育広報編集委員会

◎発行責任者	北斗市教育委員会	教育長	永田 裕
◎編集長	北斗市校長会	校長	星 正樹 (石別中学校)
◎編集委員	北斗市教頭会	教頭	岩本 宜之 (石別中学校)
	北斗市内教職員	養護教諭	今 香織 (石別小学校)
		教諭	塚原 智子 (市渡小学校)
		教諭	生田 遼河 (久根別小学校)
		教諭	會津 聡子 (茂辺地中学校)
		教諭	吉澤 優子 (上磯中学校)
		教頭	釘田 芳紀 (北斗高等支援学校)
	北斗市学校保健会	養護教諭	大塚 七重 (萩野小学校)
	スポーツ推進委員会	委員長	安達 孝義
	北斗市文化団体協議会	事務局長	小野 育子
◎事務局	北斗市教育委員会	社会教育課	